

平成 25年 3月 2日

し ょ う よ う

松陽

太陽のように
まぶしい笑顔
で

第97号

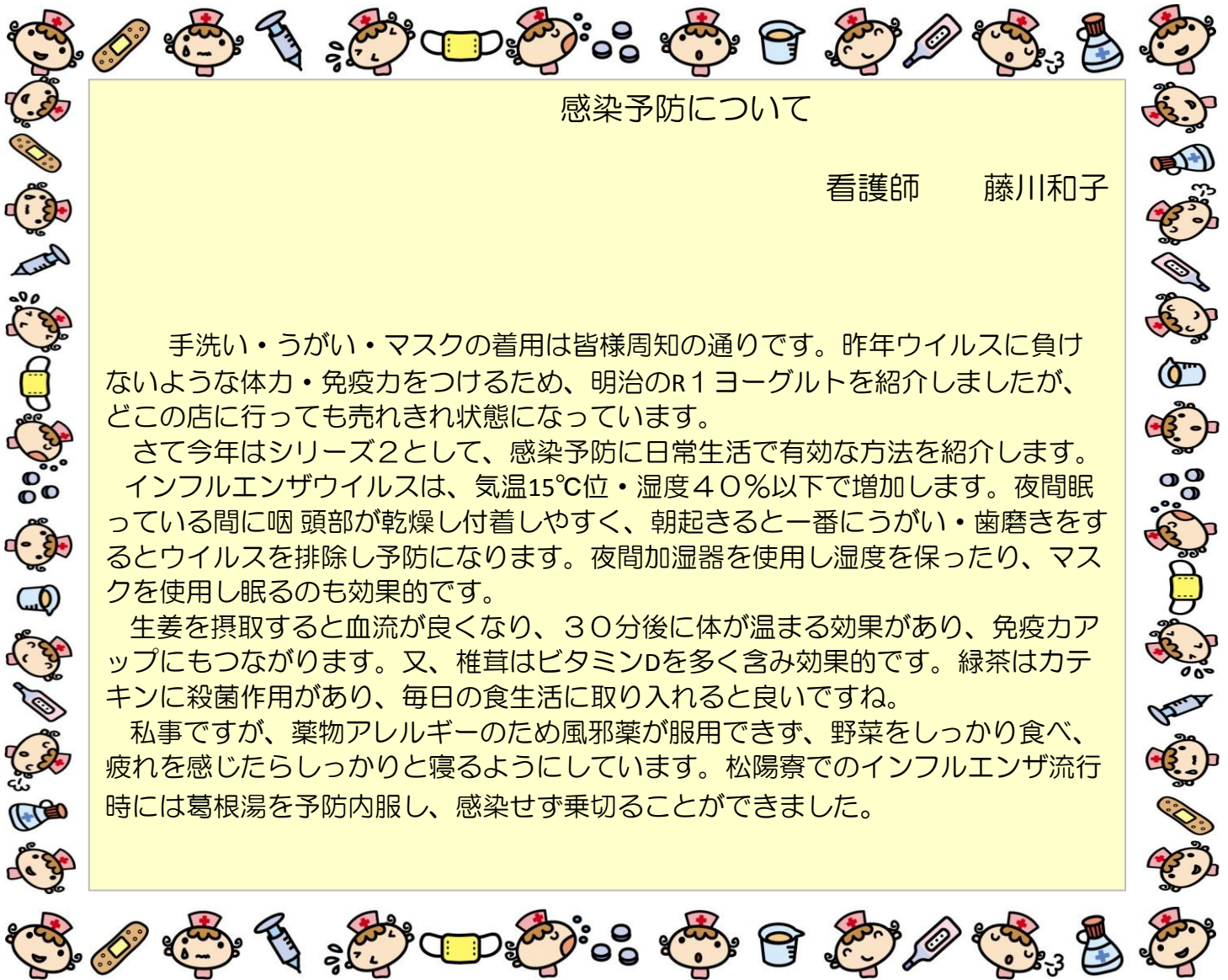


<発行>

広島県立障害者療育支援センター 松陽寮
発行責任者 秀島 和則
739-0133 東広島市八本松町米満198-1
TEL 082-428-6671
FAX 082-428-6670
URL <http://www.ryoiku-hiroshima.gr.jp>
E-mail syouyou@hiroshima-wsc.jp



松陽祭 2012 いよいよ!



感染予防について

看護師 藤川和子

手洗い・うがい・マスクの着用は皆様周知の通りです。昨年ウイルスに負けないような体力・免疫力をつけるため、明治のR1 ヨーグルトを紹介しましたが、どこの店に行っても売れきれ状態になっています。

さて今年はシリーズ2として、感染予防に日常生活で有効な方法を紹介します。インフルエンザウイルスは、気温15℃位・湿度40%以下で増加します。夜間眠っている間に咽頭部が乾燥し付着しやすく、朝起きると一番にうがい・歯磨きをするとウイルスを排除し予防になります。夜間加湿器を使用し湿度を保ったり、マスクを使用し眠るのも効果的です。

生姜を摂取すると血流が良くなり、30分後に体が温まる効果があり、免疫力アップにもつながります。又、椎茸はビタミンDを多く含み効果的です。緑茶はカテキンに殺菌作用があり、毎日の食生活に取り入れると良いですね。

私事ですが、薬物アレルギーのため風邪薬が服用できず、野菜をしっかり食べ、疲れを感じたらしっかりと寝るようにしています。松陽寮でのインフルエンザ流行時には葛根湯を予防内服し、感染せず乗切ることができました。

松陽祭2012作品展示(第2支援課)



編集後記

1月,2月からインフルエンザが流行っていましたが、みなさんの力で,早期発見・早期対応ができ,感染を必要最小限に食い止めることができました。さて、春が近づいてきました。今年度を振り返り、次年度に向けて、突き進んでいきたいものです。

行事予定

3月2日(土) 支援実務研修

4月上旬(予定) 花見会

家庭実習



楽

し

い

思

い

出

天まで飛んで!飛んで!!



飛んで飛んで!!



スポーツ・レクリエーション大会



看護師さんありがと



サンタさん、プレゼント ありがとう。

クリスマス会

よいしょ!どっこい
しょ!重いな!



もちつき

わ~、こわいよ~。
早く!できたかな?



巳年に当たり

寮長 秀島 和則

—昨年3月の東日本大震災、福島第1原子力発電所の事故による被災地では、復興へ向けて皆さん頑張っておられますが、未だ苦しい生活を余儀なくされている方がたくさんおられ、様々な支援活動が続いています。改めて一日も早い復興をお祈りいたします。

松陽寮でも、昨年うれしいことや辛いこと様々なことがありました。人間は、忘れる動物です。忘れることが辛いこと苦しいことから人間を解放してくれます。しかし、忘れてはならないこともあります。それら一つ一つを糧に、またバネにして発展していかなければならないと思います。

障害福祉の世界は、ノーマライゼーションの理念のもと、すべての国民が、障害の有無にかかわらず、かけがえのない個人として、相互に人格と個性を尊重する共生社会の実現をめざし、改革へ向けての歩みが進んでいます。そうした中、入所施設から地域への移行が目指されています。しかし、この目標に向かっては、社会資源の拡充等解決しなければならないたくさんの課題があり、必ずしも思惑通りに進んでいるとは言えない状況です。まだまだ入所施設は必要とされています。また現に、多くの人たちが入所施設で生活しておられ、その方々の生活の質の向上を図らなければなりません。一方で入所施設の役割や機能、位置づけ等今後のあり方も問われています。

松陽寮では、耐震補強・全面改修が具体的になり、24年度、25年度で基本設計・実施設計を行い、その後工事の予定です。長年の悲願である利用者さんの居住環境がより良いものになるように期待しています。また、ハード面と合わせて、ソフト面の環境整備もさらなる充実を図っていかねばなりません。

昨年末の総選挙では自民党が圧勝し、政権復帰しました。自民党の政権公約では、「社会保障」について、「『自助』、『自立』を第一に、『共助』『公助』を組み合わせ、受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度」を目指すとしています。今後の社会保障、社会福祉制度の動向に注視したいと思います。

今年は巳年です。十二支の子年から辰年までは成長の段階とされ、巳年からは発展の段階へと進むとされており、巳年は次の段階へと一歩踏み出す変化・発展の年とされています。松陽寮も発展に向け踏み出す年となるよう、「障害者と共に生きる文化を創造し発展させます。」という療育支援センターの理念、そして「重い障害がある人も、豊かで快適な生活を送ることができ、その人らしい人生を全うできるように、必要なあらゆる援助を行います。」という行動目標に心して、利用者さん、ご家族の皆さん、地域の障害のある方々とそのご家族の負託に応えるよう引き続き努めていきたいと思ひます。



皆様に喜びと感動
を!! あなたに

(松陽寮2012)